

Press Information

2014年12月19日

『美魔女フェス 2014』で コンセプトモデル「N-ONE NATURAL Concept」を初展示

株式会社ホンダアクセス（社長執行役員：松居祥二）は、Honda が車両出展を行う 12 月 21 日開催の『美魔女フェス 2014^{※1}』において、プレミアムな軽として評判の Honda N-ONE をベースとしたコンセプトモデル「N-ONE NATURAL Concept」を初めて展示します。

「N-ONE NATURAL Concept」は、今年 1 月に行われた「東京オートサロン 2014 with NAPAC」に出展し話題となった「N-BOX + ELEMENT Concept」^{※2}に続き、ホンダアクセスが提案するコンセプトモデルの第 2 弾。都会に生きる若者の価値観の中でも、「気負いのない自然体で、ありのままを楽しむこと」、「生活の中にちょっとした自分なりの手を加えよるこぶこと」、「そうしたものを選び、長年使い続けることで自然と馴染んでいくのがうれしいこと」といった 3 つの価値観に注目し開発しました。今後は、さまざまなイベントに展示する^{※3}とともに、ホンダアクセス独自の SNS サイト「Studio Access (<http://www.studio-access.jp>)」での、双方向の意見・情報交換を通じ、新たな価値観を持った製品づくりへとつなげていきます。

※1 主催:TEAM 美魔女事務局 会場:虎ノ門ヒルズ(車両展示はオーバル広場)

※2 街中からちょっとしたアウトドアまでアクティブに使いこなせる TRAIL SHOES をモチーフにしたコンセプトモデル (<http://www.studio-access.jp/article/detail/1136>)

※3 現時点でジャパンキャンピングカーショー(2015 年 2 月開催予定)、ジャパンアウトドアショー(2015 年 4 月開催予定)などに出展を予定



「N-ONE NATURAL Concept」フロントスタイル



「N-ONE NATURAL Concept」リアスタイル



「N-ONE NATURAL Concept」インテリア



「N-ONE NATURAL Concept」インテリアイメージ

お客様からの商品についてのお問合せ先:「株式会社ホンダアクセス お客様相談室 0120-663521」
受付時間:9~12 時、13~17 時(土日・祝日・弊社指定定休日は除く)

スピードはひかえめに、シートベルトをしめて安全運転。お子様にはチャイルドシートを。

○「N-ONE NATURAL Concept」の主な特長

【開発テーマ】

『Simple, Function, Material』

都会に生きる若者の価値観を具現化するために2つのデザインステップを定義。内包するキーワードを開発テーマとしました。

- ① 形や機能をシンプルに整理し気兼ねなく使えるようにしています・・・Simple、Function
- ② お客様自らが工夫され、手を加えられるなど、楽しめる余地を提案しています・・・Material

<エクステリア>

・オリジナルボディカラー

ボディはコンセプトに呼応したナチュラルなアースカラーのグリーンベージュパール、ボディ下部はダークグレーのプロテクション塗装を採用。気兼ねなく使える機能感を表現しています。さらに全体をマットカラーとして、長年使い続けることで自然と馴染んでいくイメージを表現しました。

・新意匠フロントグリル

機能を十分に有したまま、シンプルな形に整理。さらにボディカラーと同色とすることで一体感を持たせています。

・新意匠ホイールキャップ

フロントグリルと同様に、機能を十分に有したまま、シンプルな形に整理。さらにボディカラーと同色とすることで一体感を持たせています。

・ルーフレール

さまざまなアタッチメントが使えるように汎用性の高いレール断面としています。レール内側にはボルト穴を設けることでフックを付けるなどお客様自らが工夫できる余地を設けています。

・キャンバストップ

都市や自然との一体感を楽しめるよう大開口のキャンバストップを採用。また無限大の天井高を得たことで、センタータンクレイアウトの特徴チップアップ機構とあいまって、さらに気兼ねなく使えます。

・テールゲートネット

室内に持ち込みたくない汚れ物を入れておくなど、お客様自らが使い方を工夫され、楽しめるネットをテールゲートに設けました。

<インテリア>

・インパネ、ステアリング周り

機能を落とさずシンプルに整理。加飾パネルはルーバー形状として造形を統一しています。エアコンは表示部を表出させたまま煩雑なスイッチ類はリッド裏に配置。ステアリング周りは樹脂の素材色をそのまま生かしています。

なお、加飾パネルはお客様に異なる素材感を楽しんでいただけるよう、天然木をはじめ、複数の素材のものを用意しています。

・新意匠ドアラインニング

気兼ねなく使えるようにシンプルな形に整理し、使い続けることで自然に馴染んでゆく天然木を全面に採用。また下部は布張りやネットに交換することでお客様自らが工夫され、手を加えられるなど、楽しめる余地を提案しています。リアドアはフロントドアの考え方を基に、荷室として気兼ねなく使えるよう下部は厚みのあるフェルトとしています。

・天然木フロア（キャビン、荷室スペース）

気兼ねなく使えるように、フロアやリアシートバック形状に収めながら、使い続けることで自然に馴染んでゆくよう、天然木の風合いを生かして仕上げました。

・新意匠シート表皮

ドライバー席は触り心地良く、使い続けることで自然に馴染んでゆくモール糸織物としました。その他の席は、気兼ねなく使えるタフさを持たせるためPVCとしました。さらにお客様自らが工夫され、楽しめる余地として、ジッパーでシート表皮を変更できる仕掛けも設けています。

・有孔ボード形状フロントシートバック、リアシート底面、テールゲート

お客様自らが使い方を工夫され、手を加えられるなど、楽しめる余地として、荷室まわりを中心に固定フックなどを取り付けられる、有孔ボード形状を採用しました。